

優秀賞

第25回 ふるさとイベント大賞

碓氷峠 廃線ウォーク

一般社団法人安中市観光機構と地域住民たちとで実施した「地域観光を考えるワークショップ」の中で出たアイデアが形になった企画が「廃線ウォーク」です。国重要文化財である碓氷第三橋梁（通称「めがね橋」）や旧丸山変電所、旧熊ノ平変電所などの「旧碓氷峠鉄道遺産群」の知名度の高まりから、「碓氷峠にもう一度スポットライトを当てたい」「『鉄道で栄えたまち』を悲しい記憶のまま、次世代につなぎたくはない」という地域の思いは一層高まっていました。

廃線ウォークは、20年以上も前に廃線となった信越本線新線の横川-軽井沢区間を特別開放して、ウォーキングを楽しむことができるようにした観光コンテンツです。ヘルメットとヘッドライトを着用して、今なお残る廃線跡や鉄道設備、国立公園内の大自然を舞台に進めば「ここでしかできない冒険」ができます。

廃線後、活用されていなかった当該廃線路を安中市の観光地域づくりを担う安中市観光機構が着地型観光コンテンツとして整備しました。

ファミリーから鉄道ファン、しっかり歩きたい方など、さまざまなニーズに応えられるコースが設定可能となっています。また、廃線ウォークをさらに魅力的にするための取り組みとして、鉄道往来時の原風景を取り戻す活動や雑木の伐採などの環境整備、当時使用されていた信号機などの鉄道設備の復活を実施しました。こうした取り組みにより、「活きた廃線」として参加者の満足度向上に努めています。

「横川のまちに汽笛は鳴り止まない」をキャッチコピーに、廃線を歩くイベントの企画や映像制作を行っています。

主催者メッセージ

見どころは標高差553^{メートル}の信越本線 横川-軽井沢区間11.2^{キロ}すべて。現在まで残る鉄道設備も、列車往来時に投げ捨てられたであろう空き缶も、峠越えを支えた先人の刻苦の歴史も、日本一の急勾配として鉄道ファンから愛された記憶もすべて人がつくってきたものです。イベントを通して「峠の鉄道の歴史は人の歴史だった」ことを伝えています。

(一社) 安中市観光機構事業部 廃線ウォーク企画担当

上原 将太さん



開催DATA

自治体名	群馬県安中市
自治体人口	56,706人 <small>※R2.12末現在の住民基本台帳人口</small>
主催団体	(一社) 安中市観光機構
開催回数	81回 <small>※R2.6.30時点 (135回 ※R2.12末現在)</small>
開催日	SLぐんまよこかわ運行日に合わせて開催のほか、月3回ほど開催（新緑・紅葉シーズンは開催増）
開催場所	信越本線横川-軽井沢区間 廃線跡
観客数	1回50人程度 累計1,900人 <small>※R2.6.30時点 (2,900人 ※R2.12末現在)</small>



評価のポイント

- 廃線となった線路を地域資源と捉え、観光に活かしている。鉄道の衰退の中で、鉄道が持っていた人々の記憶を呼び戻させるものである。
- 地域、観光、経済各団体と連携した地域づくりを進めることにより、地域の稼ぐ力を創出することに寄与している。
- 新型コロナウイルスの影響により、VR映像を活用したコンテンツを提供。普段は立ち入ることができないトンネル内や360度の景色を楽しむことができ、緊急事態宣言下で外出ができない中、十分ファンを楽しませた。

次回 開催日程

- 開催日：定期開催のためウェブサイトをご確認ください
- 開催場所：信越本線 横川—軽井沢区間 廃線跡
- 問い合わせ先
 - ・ 団体名 (一社) 安中市観光機構
 - ・ 住所 〒379-0222 群馬県安中市松井田町横川441-6
 - ・ 電話番号 027-329-6203 ・ URL <https://haisen-walk.com/>